

てんだあ 第15号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2010年12月

〒295-0004千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



CONTENTS 主な内容

- 日常生活自立支援事業……………2P
- 敬老の日特集……………3P
- 福祉ニュース……………4P
- 地域福祉フォーラムレポート…5P
- ボランティアネット(和)ーク 6P
- ワンポイント介護……………7P
- 善意の寄付、
ちょっといい話……………8P

ホクホク焼きいもに大満足！

楽しみにしていた「さつまいも堀り」が雨の為中止になってしまい、集まった子供達はがっかり。でも民生委員さんが出来たての焼きいもを届けてくれ、みんな大喜びでした。



せんりょう
はなことば：可憐

特集

あなたの
あんしん

できる生活を
お手伝いします。

●日常生活自立支援事業のご案内●

◎日常生活自立支援事業とは、日常生活を送る上で、判断能力に不安な方や、体の自由がきかない方が地域で安心して暮らせるように千葉県後見支援センター（すまいる）が行う福祉サービスです。

※この事業を利用するには、社会福祉協議会と本人との契約になるため、サービスの内容をご理解いただくことが必要です。（理解が困難な場合は成年後見制度等へ適切に繋がります）

サービスの内容は

①【福祉サービス利用援助】

福祉サービスを安心してご利用できるようにお手伝いします。

例えば…

●福祉サービスについての情報提供を受けられます。

●福祉サービスを利用したり、やめるために必要なことを一緒に考えながら手続きをします。

●福祉サービスを利用して不都合なことがあったら、苦情解決制度を利用する手続きをお手伝いします。

②【財産管理サービス】

毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

例えば…

●医療費、税金、公共料金等を支払うお手伝いをします。

●あなたの通帳から生活に必要なお金を払い出してお渡しします。
また、預け入れすることもできます。



③【財産保全サービス】
大切な書類や印鑑などをお預かりします。

お預かりできるもの

●年金証書、預貯金通帳、不動産権利証書、契約書類、実印、銀行印等

※ただし、宝石、骨董品、貴金属、株券、有価証券等は預かれません。

※財産保全サービスのみの利用はできません。

だれが支援してくれるの

○千葉県後見支援センターの「専門員」が訪問し、契約までの調整を行い支援計画をつくります。

また、社会福祉協議会から推薦を受けた「生活支援員」が支援計画に基づいて定期的に訪問し、必要に応じた支援を行います。

利用料はどのくらい

○利用料1時間1000円程度。
生活支援員の交通費500円程度。
年会費3600円（月額300円）
財産保全サービスの利用は
3000円（月額250円）

利用事例

太郎さん（32歳）精神障害者

太郎さんは軽度の精神障害がある方です。財産管理等は父親が行っていましたが、2ヶ月前に亡くなり今後の生活が不安になり、日常生活自立支援事業を利用したいと考えました。

相談を受けた専門員が太郎さん宅を訪問し、ご本人の状況と希望を確認したところ、継続的な支援が必要と判断し、毎月1回生活支援員が訪問して、1ヶ月の収入と支出の確認を太郎さんと一緒に行うことで、安心して生活ができるようになりました。

どうして相談すればいいの

○お近くの社会福祉協議会地域福祉センター（P8参照）が相談窓口です。
お気軽にご相談ください。



これからもいきいき 敬老の日特集



敬老の日は、長年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする日です。この日にちなみ、地域のみんなが高齢者への労いや交流を深める機会に、多彩な催しが開催されました。

匠の作品 ずらり 高齢者名作展

敬老会と同時開催された高齢者名作展は66点の出展がありました。会場では、写真や絵画・編み物・刺繍などの手芸や俳句短歌・書道・工芸など、たくさんの趣ある作品が並びました。何よりも、歳を重ねられた今でも作品に取り組まれ、どの作品ひとつひとつにもその思いや深みのある高齢者ならではの作品に、来場された皆さんは感銘を受けていました。



プロ並みの作品に驚き！

人気NO.1は…どの作品に！

敬老会に来場された方に気に入った作品へ投票していただきました。

人気ナンバー1に輝いた浅沼さんは、新作のつるし雛を製作中



投票結果

第1位

白浜地区 浅沼房子様
「ひ孫の初節句」つるし雛

- 第2位 千倉地区 時岡孝生様「甲冑」手作り甲冑
- 第3位 富山地区 鈴木俊子様「手作り肩掛け」

あの頃を思い出す 南房総市敬老会

市内の65歳以上の方々にご長寿のお祝いと長きにわたり各分野でのご活躍をねぎらい、南総文化ホールを会場に恒例の敬老会が開催されました。来賓の方々の祝辞の後、元殿さまキングスのボーカルとして知られる宮路オサムさん、美川憲一さんのまねが十八番のちゃっぴーさんの歌謡ステージをお楽しみいただきました。宮地オサムさんの往年のヒット曲がはじまると一緒に歌う声で会場の皆さんが一つになってステージを堪能しました。



これからも“がんばろうよ”と握手



楽しみにしていた人たちが会場はいっぱいに



今回の祝賀会には最多の119人にご出席いただきました



二人の記念写真をお祝いの言葉とともに贈りました

夫婦円満 仲むつまじく結婚50年をお祝い 結婚50周年記念祝賀会

今年結婚50周年を迎えられたご夫婦95組に渋谷幸一社協会長から記念品とお祝いの言葉が贈られました。

お二人で歩んだ50年という長い道のりを共に過ごされたご夫婦に敬意を表しますとともに、これからもお二人寄り添いながら何よりも健康で素敵な人生を過ごされますようこちらからお祈りいたします。

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

10月20日

被害に遭わない為に

富浦地区社協いきいきサロン

富浦地区社協では、地域の高齢者をお招きして「いきいきサロン」を開催しました。

館山警察署員の方から、「オレオレ詐欺に遭わない為に」と「交通安全について」のお話を聞きました。真剣な話の後には、みんなで昼食。大勢で食べるご飯は格別です！

午後は保健師による健康チェックと頭の体操。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。



お腹も笑顔も満腹

11月6日

児童と最後の交流

長尾地区社協二世代交流



注目の一打

長尾地区社協では、平成11年度から長尾小児童と高齢者の「二世代交流」グラウンドゴルフ大会を開催してきましたが、小学校の再編により今年度で統合となるため最後の交流会となりました。

当日は秋晴れの清々しいなか、高齢者35名児童23名の参加でグラウンドゴルフで交流しました。初めての児童が多く高齢者が教えてあげている姿があらこちらにあり、和気あいあいのなか一生懸命頑張っていました。

大会終了後、児童から高齢者にお礼の言葉と「たくさんのおとしよりとふれあうことが出来て楽しかったです」という感想をたくさんいただき、感動した最後の交流会となりました。

11月22日

一本橋

こーちよこちよー

三芳地区ふれあい交流会

今年初の試みとして、社協のふれあい交流事業と老人クラブ三芳支部の芸能発表会を一緒に開催しました。今回は、三芳幼稚園年長さん40名を招待し、元気いっばいの歌と踊りに割れんばかりの拍手喝采！最後は、♪げんこつ山のたぬきさん♪と一緒に歌いながらのじゃんけんゲーム。負ければ「くすぐり」の罰ゲームとあって大賑わい。

参加者の皆さんは園児の天真爛漫な姿に元気をもらい、楽しいひと時を過ごしました。



階段のぼってこちよこちよー

11月23日

お目当ての品求めどっと！

第5回和田福祉まつり



児童に人気！ボランティアさんの絵手紙コーナー

和田地区の区長さんはじめ、地域の皆さんの協力のもと「第5回和田福祉まつり」が和田地域福祉センター「やすらぎ」を会場に開催されました。

10時開始の1時間前には長い行列ができ、その先頭は2時間も前から並んでいました。開場と同時に、待ちかねた人々がバザーの品を指してドットとだれ込み、大混雑！しょう油や砂糖などの調味料はあっという間に完売になり、日用品や衣類なども次々に売れていきました。

こどもから大人まで楽しめるボランティアさんコーナーも出店し、市内外から多くの人たちが参加し大賑わいの一日となりました。

地域福祉フォーラム

各地区からの レポート

福祉をはじめさまざまな分野の人たちが協力して、地域福祉を考える座談会「地域福祉フォーラム」を平成22年度から各地区で開催します。
今回は、千倉地区、和田地区のフォーラムの開催状況をお聞きました。

地域のことを話し合おう 〈和田地区地域福祉フォーラム〉

7月に他地域ですでにフォーラムの3年間を経験され実績をのこされた役員の方を講師に和田地区全体のフォーラム合同研修会を開催し、皆様のフォーラムに対する内容にご理解をいただきました。その後、構成員を組織し、実行委員会、勉強会、意見交換等を重ねているところです。



みんなで考えよう！

福祉調査ニーズに向けて 〈千倉地区地域福祉フォーラム〉

千倉地区地域福祉フォーラム開催に先立ち、今年4月9日第1回実行委員会が行われ今年度の事業について協議しました。
今年度はアンケートによる福祉ニーズ調査を実施し、この調査で地域から寄せられたニーズを基にフォーラムを開催する予定です。

8月・9月にアンケート内容の検討を行い、10月・11月調査を実施、現在アンケートの集約を行っています。



ひとつずつ丁寧に集計する実行委員



協定書締結式の会場

もしもの時に
備えた取組み

千葉県社協との災害時 相互支援協定を締結

11月12日、千葉市の「ホテルポルトプラザちば」を会場に、県社協と県内54市町村社協との間で、災害時の相互支援に関する協定書が取り交わされました。災害という非常時には、社協の専門性を活かし救援活動やボランティア活動を円滑に行うために県社協が窓口となり、県内各市町村社協との緊急連絡網の整備をするものです。主な支援内容は被害地の情報収集や職員派遣について定めています。当社協では渋谷幸一社協会長が出席しました。

広がれ！

ボランティアが活動をレポート

ボランティアアネット和ーく

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

防災・福祉の先進地へ

南房総市ボランティア連絡協議会視察研修

南房総市ボランティア連絡協議会では、防災、福祉の活動が活発で知られている山武市ボランティア・市民活動センターへ17名が訪問し研修を行いました。

研修は主に山武市市民活動センターで行われ、

ること、そして仕事疲れにかかわらず各種イベントの準備などは労を惜しまず夜行うなどの意見を聞き、熱き人達の集団と、思い感心しました。今後、私も協議会としても大いに見習いたいと思っています。

同市ボランティア連絡協議会香焼由和会長のあいさつ、同協議会の全般説明、各委員の補足説明、後2グループに分かれて活動パネル及び施設の説明を受けた後、情報交換を行いました。



活動発表を事例に意見交換

年をとっても食べやすく

ランチサービスちくら調理研修

ランチサービスちくらでは、“高齢者の食”について、千倉社会福祉センターで介護保険施設「あそぼ」の安田調理長を講師に招き、会員40名が調理研修に参加しました。

今後の配食を楽しみにして下さい。



実演中の安田調理長と会員ら

入浴のお手伝い

南房総市ボランティア連絡協議会

八千代市身体障害者福祉会が南房総市を訪れ市内のホテルに宿泊しました。その際、南房総市ボランティア連絡協議会の渡辺利昌副会長をはじめ役員3名が車椅子を押したり、脱衣のお手伝いをしました。短いお手伝いの間でしたが、体が不自由にもかかわらず笑顔で元気で頑張っている姿に接して、私も元気をいっぱいいただくことができました。



八千代市身体障害者福祉会代表者とパチリ

家庭で不要になった福祉機器をお譲りください！

車椅子・歩行器・杖・シルバーカーなど

南房総市社会協議会では、ご家庭で不要となった福祉機器をリサイクルし、必要とする方へ無償でお譲りしています。ご家庭で不要になった福祉機器がございましたら、社会福祉協議会本所またはお近くの地域福祉センター（P8参照）までお知らせください。

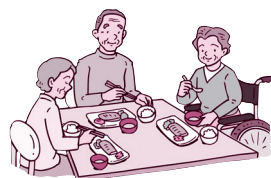




ホームヘルパー
ワンポイント

かいGO 介護

食事編



～楽しくおいしく食べられるように！～

食事は生きていくために欠かせないものであり、「おいしい!」「楽しみ!」と思う気持ちをなくさないようにしたいものです。高齢になると「おいしい」と感じる味覚の低下や、うまく食べられないことで「ゆとり」がなくなりおいしく食事がとれなくなります。また、運動量も減り、食事の量も減り栄養のバランスも悪くなり、低栄養になりがちです。

そのひと工夫!

- バランスよく多くの種類をとるようにし、規則正しく食事のリズムをつけるよう心がけましょう。
- 彩りも大切に。旬の材料を使い食卓を演出しましょう。
- その方に合わせた調理の工夫を。細かく刻んだりやわらかくしたりとろみをつけたりし、また自助具（自分で食べられるようにつくられた箸・スプーン・食器など）を利用し自分で食事がとれるよう工夫しましょう。

問い合わせは

- ホームヘルプサービスとみやま 電話50-5213
- ホームヘルプサービスみよし 電話36-2276

高齢者・障害のある方の在宅生活を支援します。

●外出支援サービス

ひとりで電車やバスなどの公共交通機関で移動が難しい方、周囲に送迎（運転）のできる人がいない方へ通院・買い物などの外出をホームヘルパーがお手伝いをします。

	外 出 支 援
利用 できる 方	市内居住で高齢者・障害のある方・要支援認定の方
サ ー ビ ス 圏 域	お住まいの本会各地域福祉センターを基点とした片道10km圏内とします
会 員 登 録	事前に会員登録が必要です
年 会 費	1,000円 / 年間
利 用 回 数	週1回
利 用 料 金	700円（1往復）
運 転 者	南房総市社会福祉協議会所属ホームヘルパー
車 の 条 件	本人もしくは同居家族が車を所有していない



■利用時間

土日、年末年始を除く
午前8時30分から午後5時

■問い合わせ

お近くの地域福祉センター（P8参照）
またはホームヘルプサービスとみやま・みよしへご連絡ください。

●紙おむつ配布事業

市内に居住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に無料で紙おむつを給付しますので、希望する方は下記までお申し込み下さい。

	紙おむつ給付事業	高齢者介護用品支給事業（非課税世帯）
対 象 者	①要介護認定3・4・5の方 ②身体障害者手帳1・2級の方 ③精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳をお持ちの方	①65歳以上で要介護4・5の方 ※前年度市民税非課税世帯に属する高齢者又は介護者
品 目	①紙おむつ（サイズにより、約50～60枚） ②尿とりパット（約80枚） ③フラットタイプ（約120枚） ※どれか1品目	①紙おむつ②尿とりパット③紙パンツ ※1回あたり25,000円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 ②介護保険証または障害者手帳の写し	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

- 申込期限 平成23年1月28日（金）まで
- 給付月 平成23年3月 ※給付期日については、後日郵送でお知らせします。
- 申込先 社会福祉協議会各地域福祉センター（P8参照）
- 問い合わせ 南房総市社会福祉協議会 電話 44-3577

たくさんのまごころありがとうございます。善意の寄付

(敬称略／平成22年9月～平成22年11月)

白浜地区根本区	30,000円
大貫小松寺もみじ祭 実行委員会	39,421円
匿名 1件	10,000円

第5回和田福祉まつりでご協力いただいた
方々にご寄付をいただきました。

扇祥会	3,000円
ふれあい喫茶「なごみ」	3,000円
おたよりボランティア	3,000円
なみはらっこくらぶ	3,000円
おたのしみコーナー福祉箱	20,900円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立させていただきます。ありがとうございました。

地域のちょっといい話

出逢いからはじまったライフワーク

南房総市に移住して4年になる小堀春隆・哲子ご夫妻は、老人クラブ入会をきっかけに人とのつながりが広がり地域の行事や活動に参加されてきました。

「地域に出かけることや参加することは私たちの毎日を楽しく過ごさせてくれる、ボランティアと言っても自分たちがやれる時にやっているだけのことです。」と話されるお二人。3年前に和田地区の“花の広場公園花夢花夢”の植栽公募に参加したのち、植えるだけでなく花々の手入れを現在も続けられています。春へ向けてポピーの植え付けが11月にひと段落、今は水かけや枯れた花の摘み取りに公園へ出かけているとのこと。これから鮮やかなオレンジや黄色のポピーが咲くのが楽しみです。



二人三脚でやってこられた小堀春隆・哲子ご夫妻

【各種相談】

◆心配ごと相談 ～日頃の悩みや困りごとは～
時間：13：30～16：00

1月	2月	3月	場 所
11日(火)	10日(木)	10日(木)	南房総市富山支所
11日(火)	10日(木)	10日(木)	ちくろ介護予防センター
12日(水)	9日(水)	9日(水)	とみうら元気倶楽部
19日(水)	16日(水)	16日(水)	白浜保健福祉センター
20日(木)	21日(月)	22日(火)	丸山公民館
21日(金)	18日(金)	18日(金)	三芳農村環境改善センター
26日(水)	23日(水)	23日(水)	和田地域福祉センター

◆無料法律相談 ～法律に関することでお悩みの方～
時間：13：00～16：00 予約・問い合わせ：44-3577

開設日	場 所	事前予約受付
3月 2日(水)	和田地域福祉センター	2月14日(月)

○予約申込：事前に予約受付日の午前9時から電話44-3577で予約を受け付けます。

○定 員：6人（相談はおひとりにつき30分まで）

○その他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

◆結婚相談 ～よい出会いを応援します～

時間：10：00～12：00 問い合わせ：44-3577

1月	2月	3月	場 所
14日(金)	4日(金)	4日(金)	ちくろ介護予防センター

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 電話 44-3577

編集後記

★あれよあれよと言う間に、今年もあとわずか。そう考えてみると1年が経つのは早いなあと思います。さて今年を振り返っての反省は？広報委員として、原稿編集ぎりぎり、締め切りに追われながら入稿…。毎回思うことですが、余裕を持って幅広く取材をこころがけたいと思います。(A)

★先日家族で紅葉を見に行きました。ちょうど紅葉シーズンのピークということもあり、早めに出発することにしました。目的地に着くと思ったより空いておりましたが、帰る頃には長蛇の列・列・列！これに巻き込まれていたら…考えるだけで顔が紅葉しそうです…やはり早起きは特ですね♪(R)

★10年連れ添った愛用のロールペンケースがひとり旅に。打合せや取材に行くのもいつも一緒でした…使い方が悪かったのかなと反省しつつ、いつか私の元に返ってくると信じてます！(T)

発行
編集

社会福祉法人
南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸2705-6

電話 44-3577 FAX 44-3542

◆富浦地域福祉センター 電話 33-4565

◆富山地域福祉センター 電話 57-2926

◆三芳地域福祉センター 電話 36-2276

◆白浜地域福祉センター 電話 30-5122

◆千倉地域福祉センター 電話 44-3541

◆丸山地域福祉センター 電話 46-2200

◆和田地域福祉センター 電話 47-3390